

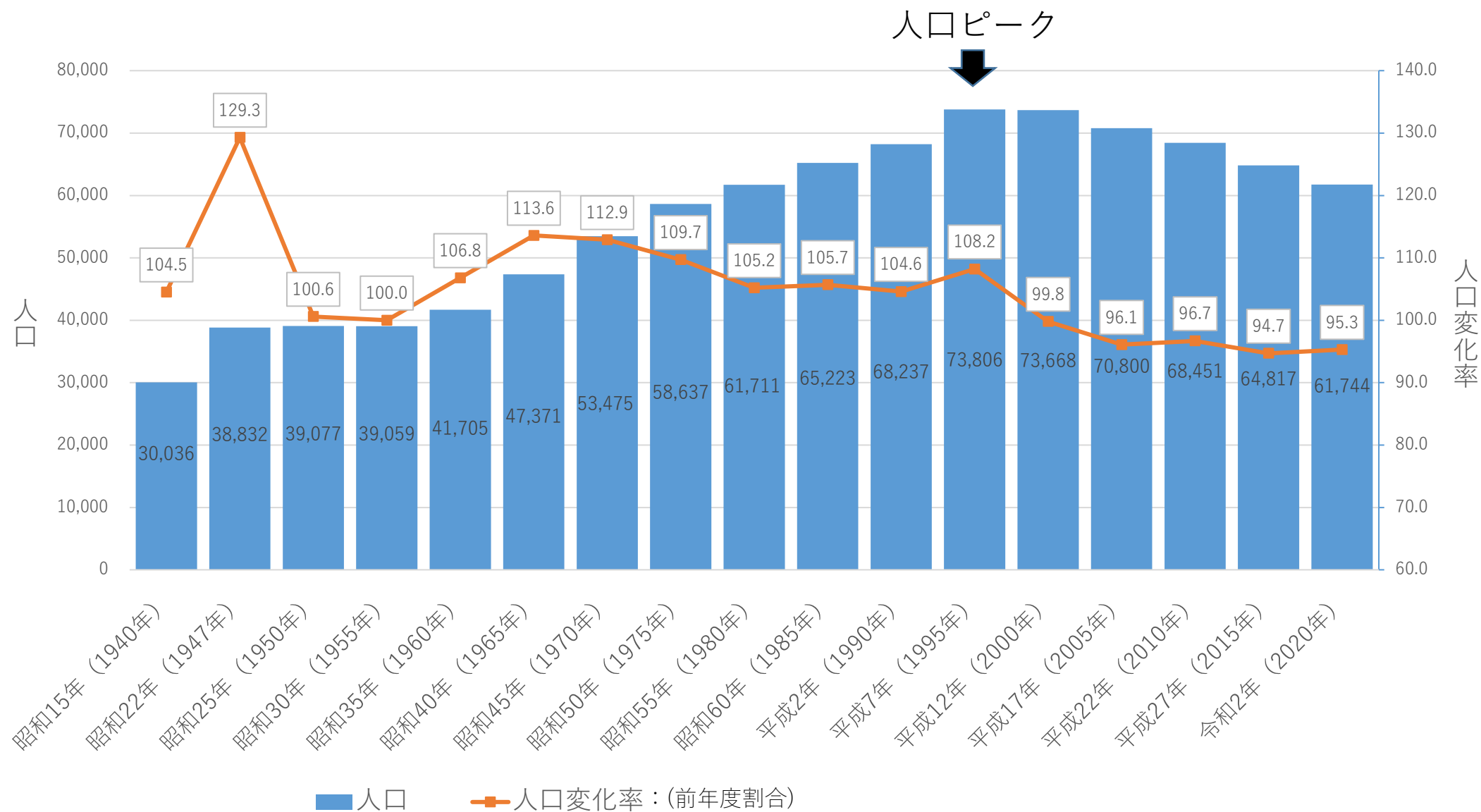
大和高田市の 人口動態について

令和 7 年 8 月

令和7年度 第1回 大和高田市まち・ひと・しごと創生会議
令和7年 8月27日（水）14：00～

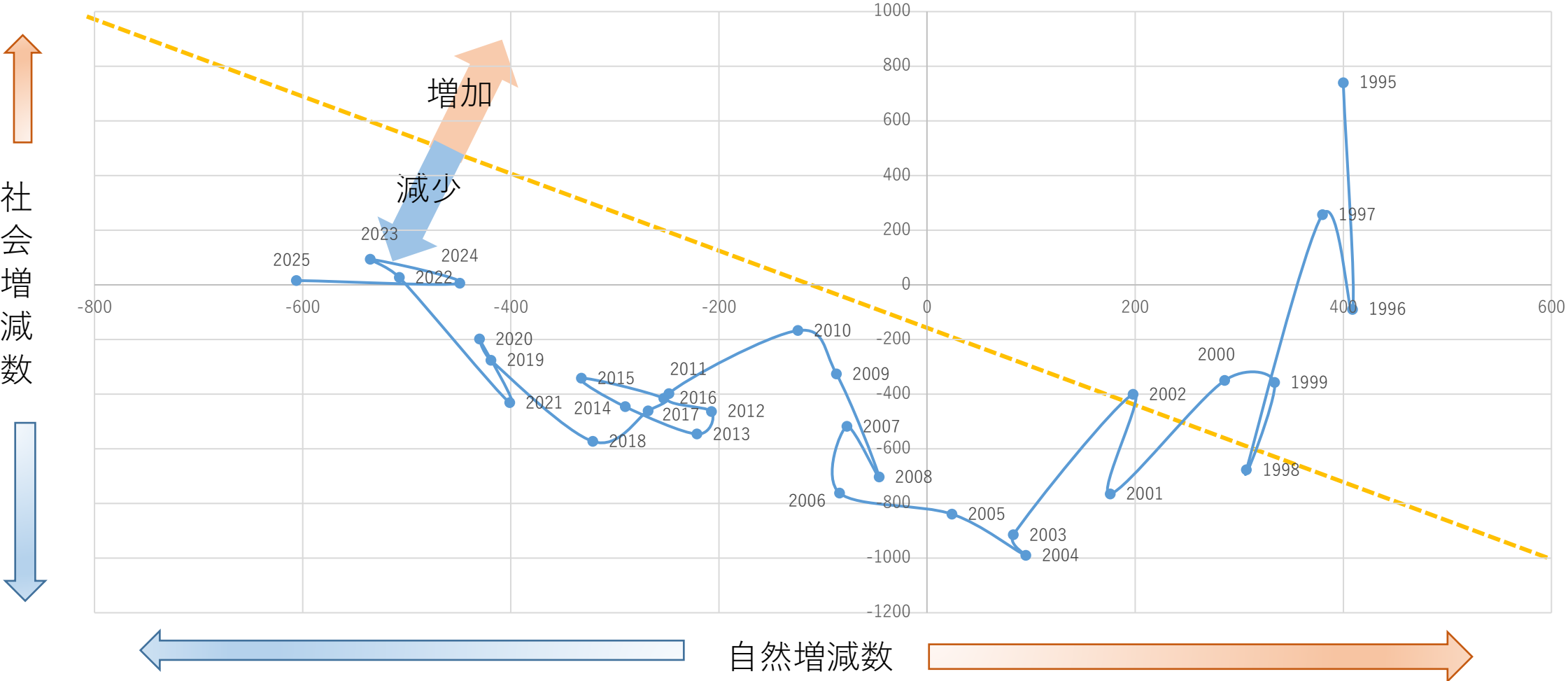
人口と人口変化率の推移

【出典】国勢調査



※ 各年1月1日時点

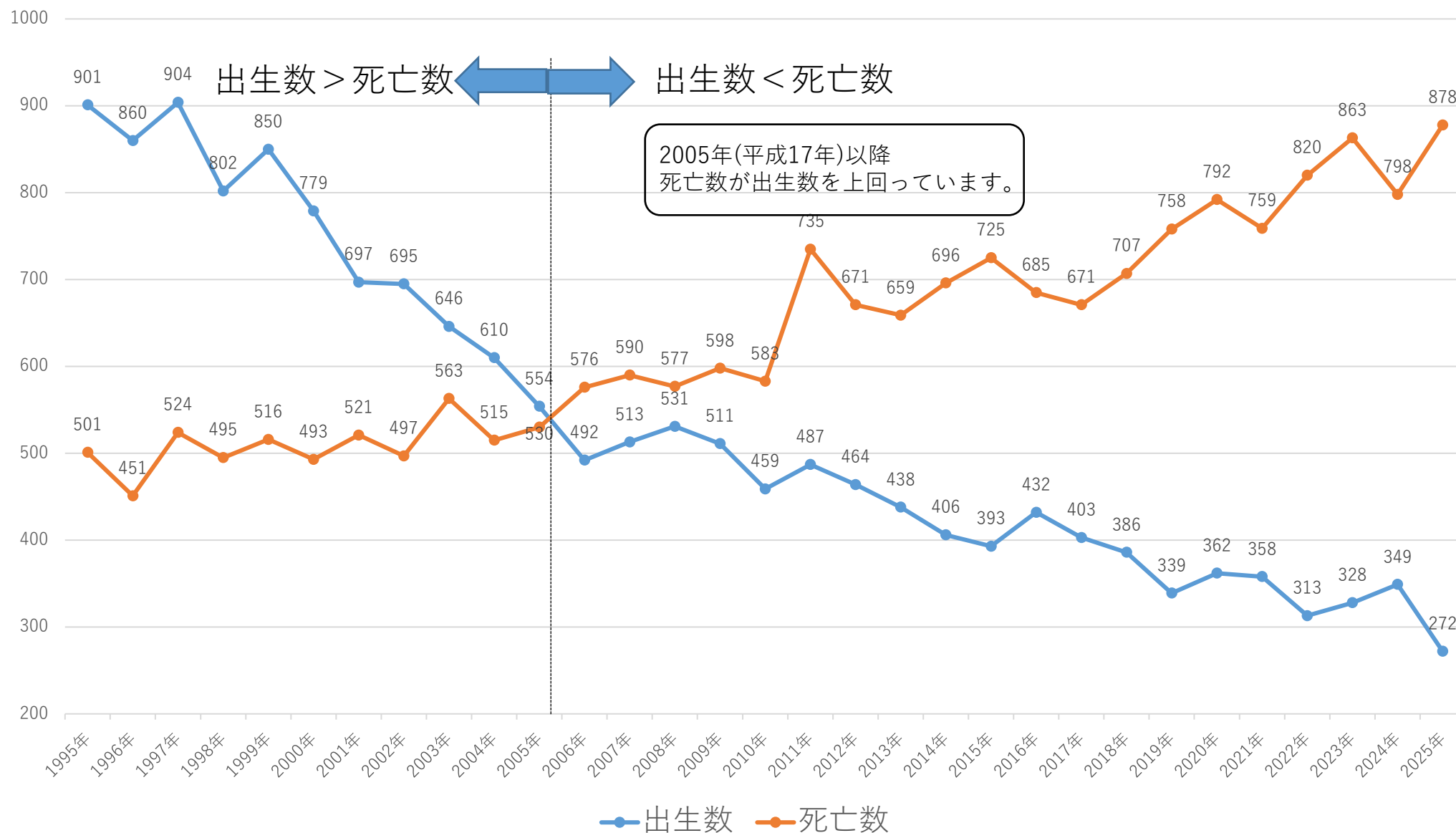
自然増減と社会増減の推移（散布図）



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

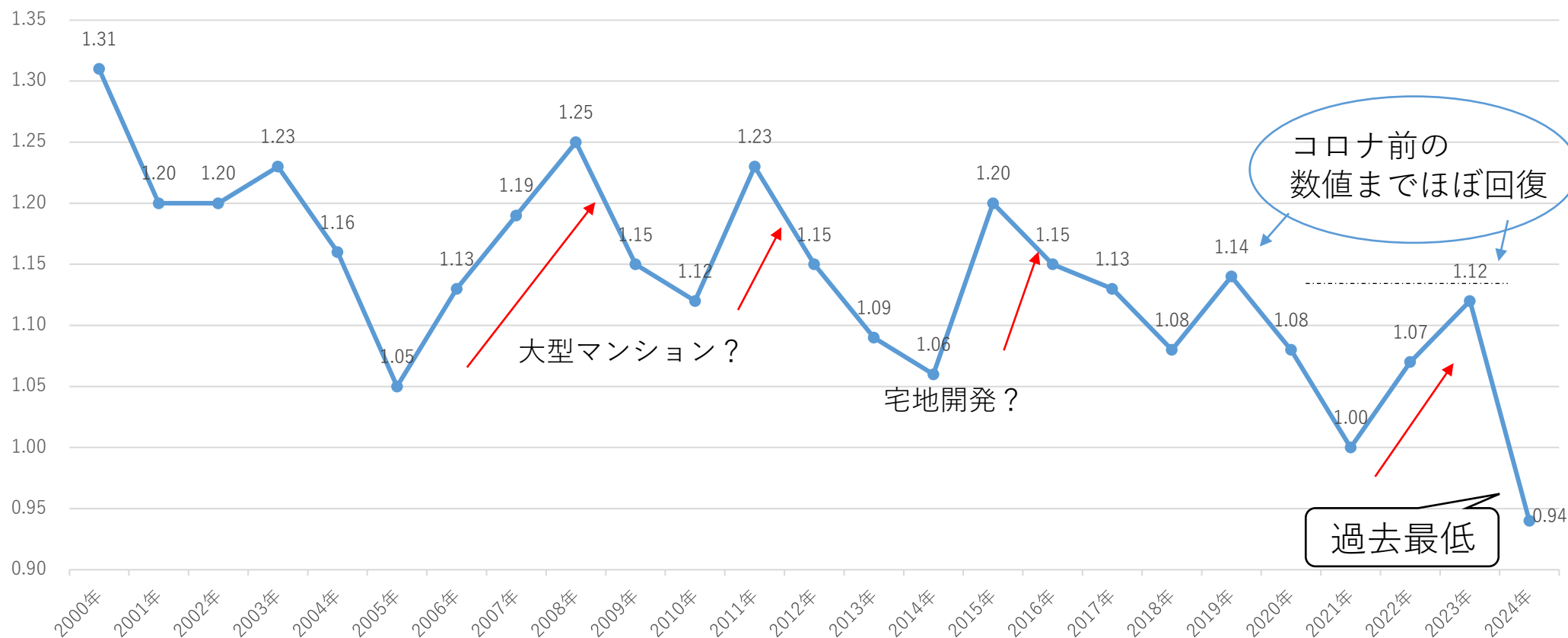
出生数・死亡数

※ 各年1月1日時点



合計特殊出生率

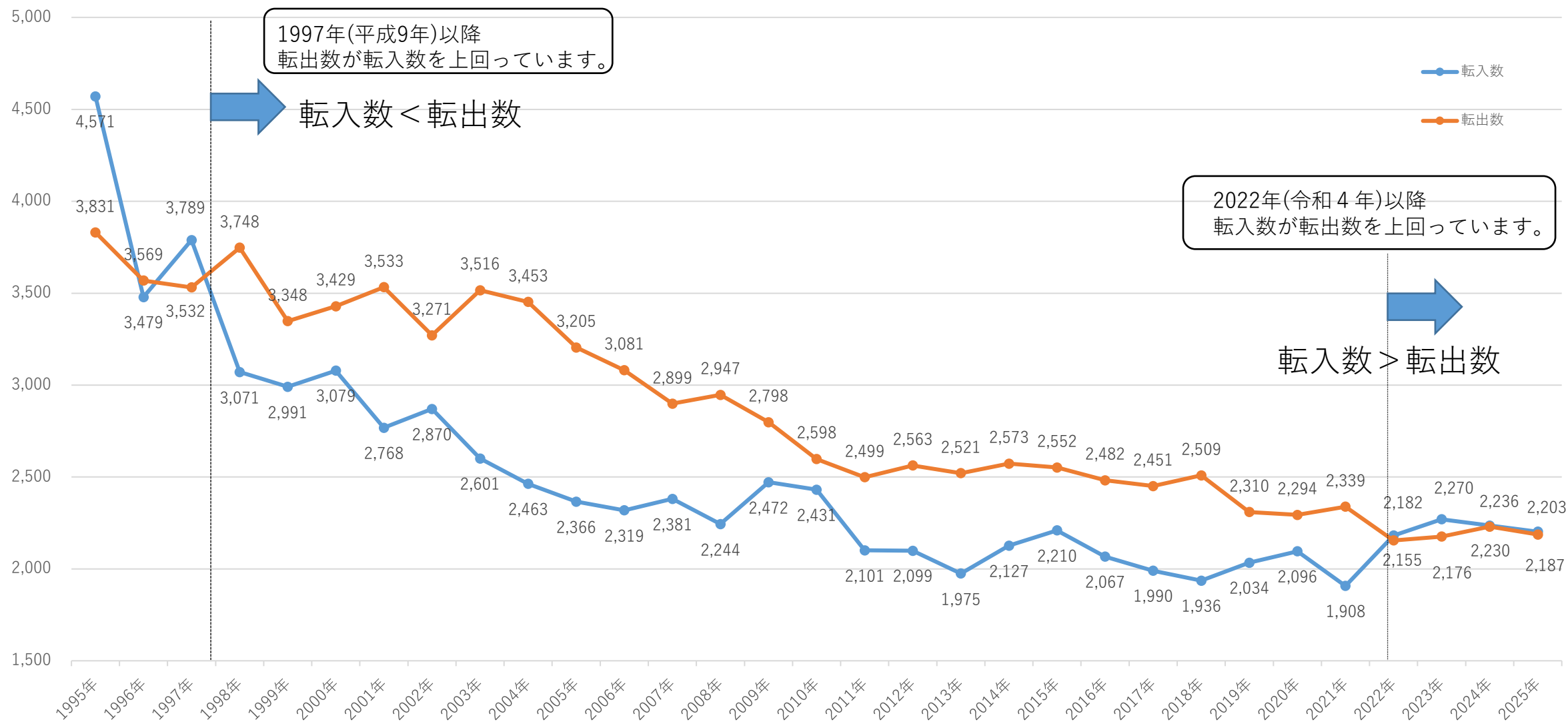
人口動態調査による母親の5歳階級別出生数を住民基本台帳（10月1日付）による15～49歳の5歳階級別の女性人口比で除した値の合計



転入数・転出数

【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

※ 各年1月1日時点



From-to分析（定住人口）

【出典】 地域経済分析システム（REASAS）2023年

転入者 内訳 〈上位5位〉

	転入元	転入者数	全体の割合
1	橿原市	229人	11.16%
2	大阪市	183人	8.92%
3	香芝市	153人	7.46%
4	葛城市	104人	5.07%
5	奈良市	75人	3.65%

転出者 内訳 〈上位5位〉

	転出先	転出者数	全体の割合
1	大阪市	240人	11.40%
2	橿原市	199人	9.45%
3	葛城市	150人	7.13%
4	香芝市	138人	6.56%
5	奈良市	79人	3.75%

転入超過数 内訳 〈上位5位〉

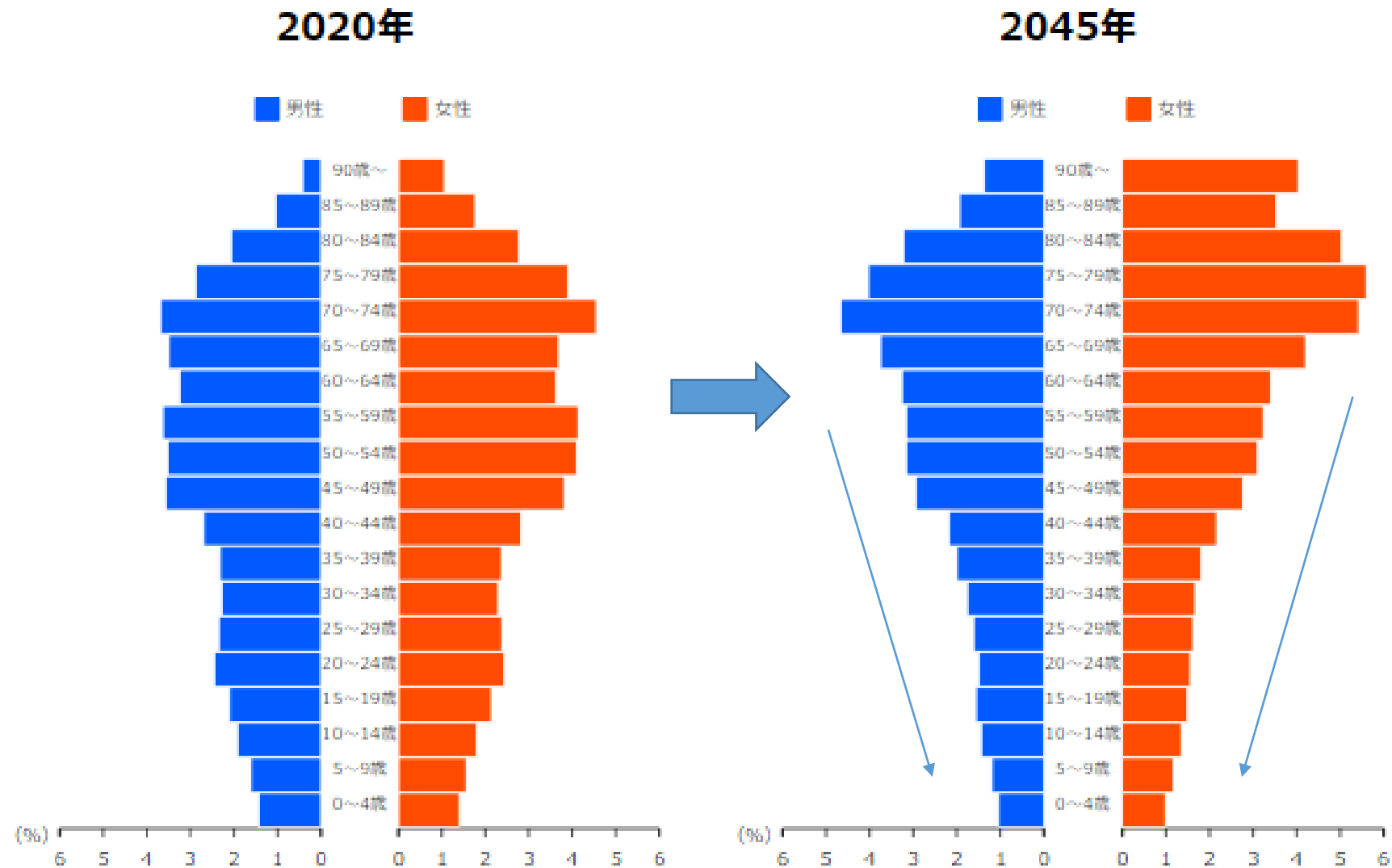
	転入元	転入者数-転出者数	全体の割合
1	橿原市	30人	18.29%
2	桜井市	29人	17.68%
3	御所市	26人	15.85%
4	香芝市	15人	9.15%
5	田原本町	12人	7.32%

転出超過数 内訳 〈上位5位〉

	転出先	転入者数-転出者数	全体の割合
1	大阪市	57人	26.27%
2	葛城市	46人	21.20%
3	広陵町	38人	17.51%
4	天理市	11人	5.07%
5	名古屋市	10人	4.61%

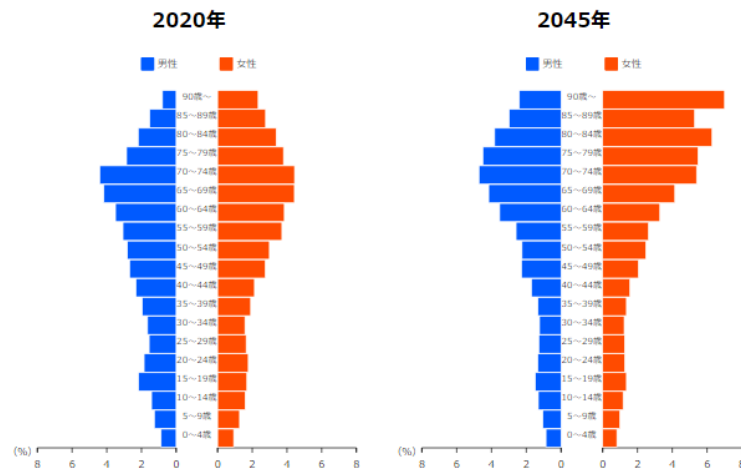
人口ピラミッド

【出典】 地域経済分析システム (REASAS)

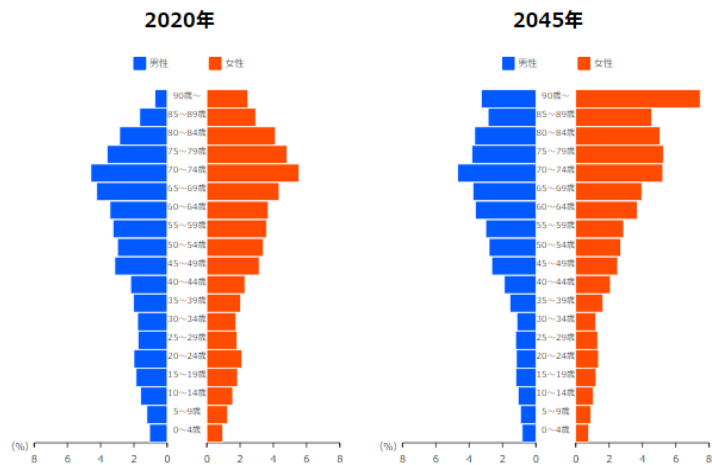


【参考】近隣市人口ピラミッド

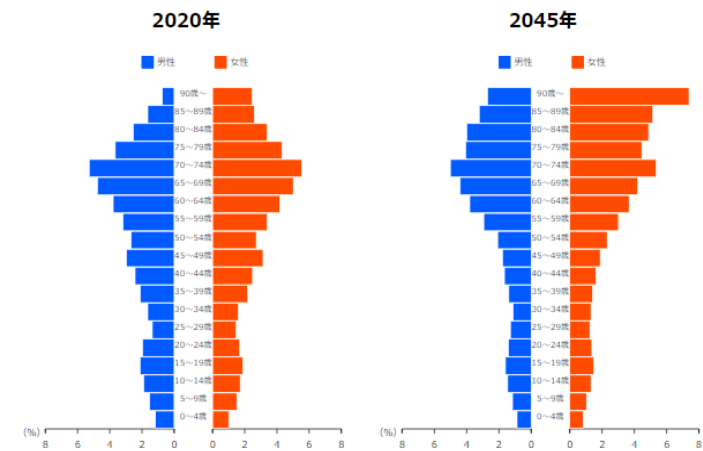
五條市



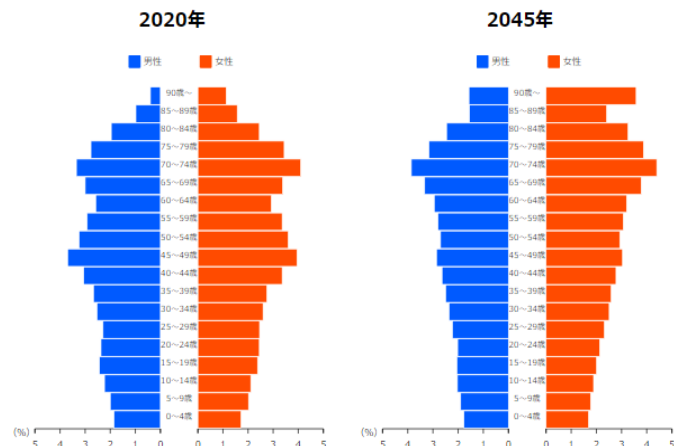
御所市



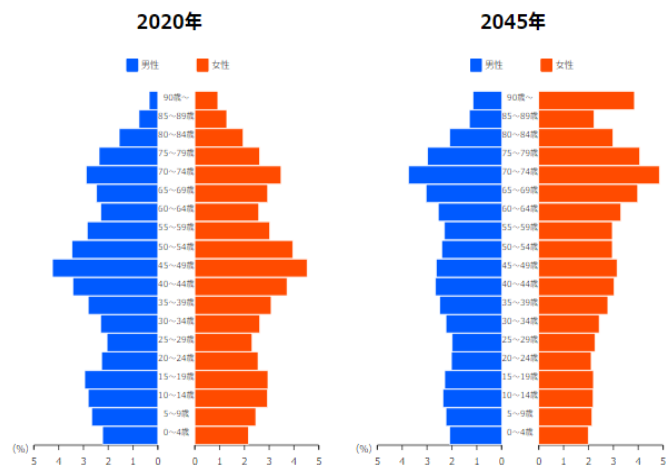
宇陀市



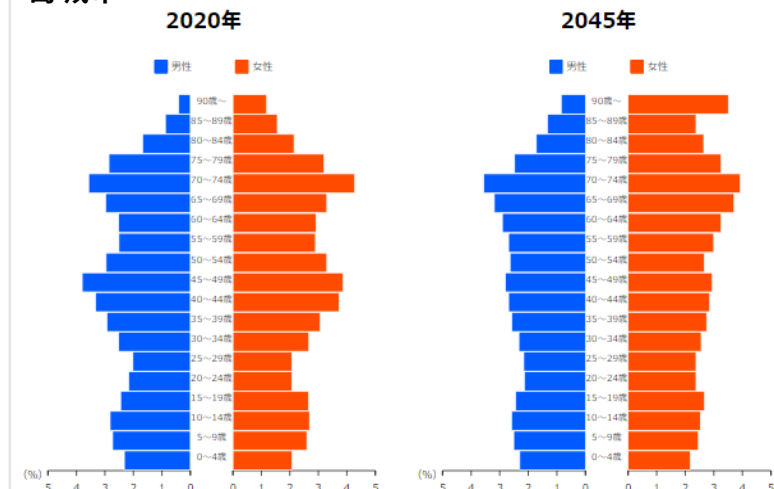
橿原市



香芝市



葛城市



○考察

- ・ 依然、自然減少率は高い。
→2025年1月1日時点の出生数（2024年1月～12月の出生数）は過去最低であった。
- ・ 4年連続で、社会動態増減数が増加している。
→外国人の人口が増加していることも一因であると考えられる。
- ・ 合計特殊出生率が2024（令和6年）に0.94と過去最低値となった。
→令和7年1月～6月の出生数と令和6年1月～6月の出生数を比較すると、令和7は出生数が増加しているので、今後は若干、回復するのではないかと考えられる。